

# Libra I on 16

<http://www.libra-sc.jp>

vol.

りぶらいおん

## ふみだそう！ りぶらから、はじめの一步

特集1：りぶらの「バツ&テリー」インタビュー  
野田元陽氏（中央図書館長） & 神尾典彦氏（文化活動推進課課長）

特集2：「第14回図書館を使った調べる学習  
コンクール」優良賞受賞インタビュー  
兵藤梨歩夏ちゃん・茉梨夏ちゃん

東日本大震災の募金受付に  
活躍中の「りぶらいおんねぶた」。  
5/28に、あちこちの破れを  
修復しました！  
7月から、今年の「りぶらまつり  
実行委員会」が立ち上がります。  
今年は、「こりぶらいおんねぶた」  
が生まれるかも？！  
今年のまつりテーマは、これ↓



### りぶらまつりで みつけよう、 はじめの一步



岡崎市図書館交流プラザ

図書館交流プラザ（愛称:Libra）は、「図書館」「活動支援」「文化創造」「交流」の4つの機能で構成されています。りぶらサポータークラブ(LSC)は、Libraの施設活用をサポートする活動をしています。



りぶらいおんLSC

# りぶらの バッテリー

## 野田元陽氏

(中央図書館長)

—— 財政課からの異動ということですが。

昭和55年に入庁して、収納課・資産税課・管理課・市民税課を経て、平成15年からこの3月まで財政課にいました。いま、図書館関係の本を読み始めたところです。

これまで、図書館とは全く縁のない仕事でしたので、前の図書館と比べて「りぶら」がどうか、ということも言えないのですが、「図書館長」という職務には、財政面も含めて、全体を俯瞰する総合的なマネジメント力が必要なのだろうなと思います。

—— 今、図書館についていろいろ学んでいらっしゃるということですが、個人的に、あるいは岡崎市にとって、図書館はどのような存在なのでしょうか。

### 就任インタビュー

この4月からの組織改編で、「りぶら」は「文化芸術部」の管轄となって、図書館長に野田元陽氏、文化活動推進課課長に神尾典彦氏が就任されました。神尾課長とは、りぶら開館前のワークショップからのおつきあいがあり、いわば、りぶらサポータークラブの生みの親。とはいえ、先にインタビューさせていただいた野田館長から、神尾課長がソフトボール部のエースであり、野田館長とバッテリーを組んでいることなど、初めて聞く話もありました。財政課から初めて図書館に足を踏み入れた野田館長も、いま、「図書館」について猛勉強中。まずは、皆様にご挨拶を、とインタビューに応じていただきました。

## 神尾典彦氏

(文化活動推進課課長)

—— 1年ぶりの「りぶら」はいかがですか？ 組織改編もあって、「文化活動推進課」となりましたが。

初心にかえって務めたいですね。前は市民活動総合支援センターの一班長として、「りぶら」を無事に開館させることが一番の目的でした。今度は課長という立場で、下を動かしていかなければならない。まさしく運営の舵取りを担っていかなければならない立場になりました。まず、課長職に慣れるということ、文化活動推進課が担う市民サービスをどうとらえるかということが仕事かと思えます。

「文化活動」の「文化」を、「人の営み」と考えています。「文化」といってもそんな難しいものではなく、「人の営み」ととらえると、とても日常的なことなんです。そして「活動推進」のところでは、行政は黒子に徹して、環境作りの支援を

していくということと考えています。

昨年までは、「総務管理課」と「図書館」と「市民活動支援センター」という3つの課がありました。今回「総務管理課」と「市民活動支援センター」が「文化活動推進課」の一つになったわけですから、より意思の疎通が図りやすくなります。新しい図書館長と協力して、りぶらを育てていきたいですね。

—— その図書館長とは、ソフトボー

ル部で長年バッテリーを組まれていると伺いましたが。

私自身は、29才からの入部なんですけど、野田館長は1年上で、24年のつきあいになります。最初の頃はノーコンピッチャーで、理論ではわかっているのに身体がついていけないというバランスの悪さがあった。でも、肩の力が抜けて、自然体になれるとストライクが入るようになる。そういうときは練習しなくても、ストライクが取れる。だから、仕事でも自然体になれるといいですね。

ピッチャーとしては40才くらいがピークだったけれど、下におだてられて、まだたまに投げることもあります。野田館長は2年前に監督を降りたけど、とても手堅い監督でした。ここでも、きっちりバッテリーを組んでいきたいですね。

—— 初心に戻ってということですが、りぶらの初心とは？

「人の集う施設である」ということで



私個人としては、図書館というのは専門的なことを調べるための施設というイメージでした。絵本や普通の小説・雑誌・新聞があると思っていなかったですね。こんなに利用されているということに、まず驚きました。

岡崎市にとっては、今回の組織改編でもわかるように、「りぶら」は文化芸術の推進に深くかかわる施設と位置づけられたわけですから、その一翼を担う図書館としての役割を、きちんと果たしていかなければならないと思います。

——— そういう点で、岡崎市の図書館としてのビジョンは？

一つは、郷土資料の充実ですね。例えば、徳川家康のことなら、岡崎市中心図書館に行けばすべてわかる、というような。それから、松平八代や菅江真澄・鶴田卓池などの資料もそうですね。

もう一つは、図書館が市民の知識の宝庫として利用されるということです。



いつ行っても資料が少ないし、同じ本が並んでいるという状況は避けたいですね。そこそこ専門的な資料もあって、探している本がすぐに見つかる、思いがけない情報に出会うというような場所にしたいですね。

ところが、財政的には年々厳しくなっているわけで、そういう利用者の声にどう答えていくのか、ということが問題になってきます。そこで、職員の創意工夫ということが、益々重要になっ

てくると思うので、管理職として、職員のマネジメントに力を注ぎたいですね。

——— ご自身の読書歴は？

高校卒業まではほとんど本を読まなかったですね。ずーっと剣道をやっていましたので。浪人時代に、ふと手にした北杜夫「楡家の人々」を読んで、自分でも長編が読めるんだと自信がついて、以来、漱石・藤村・芥川・新田次郎・山岡荘八など、読み出すとやめられなくなりました。いま集中して図書館関係の本が読めるのも、あの時代があったからかなと思います。

入庁した翌年から市役所ソフトボール部に所属して、キャッチャーを務めているという野田館長。平成20年までの10年間は、監督も兼任されていたそうです。キャッチャーや監督で培った俯瞰的視野が、生涯学習施設の核となる図書館運営に活かされることを期待します。

す。学生等の利用マナーの悪さから、いまは3階のテラスが閉鎖されて残念なことになっています。「りぶら」は使われるための施設ですから、管理を強化して施設の良さを犠牲にしたいはいんです。多様な利用者と利便性のバランスを考えていきたいですね。

それから、「りぶら」ができたことで、街の活性化への波及効果がもう少しあると思っていたのが、残念な結果になっている。公益性のある協働事業もそれほど増えているわけではないので、そういうところに目配りをしていきたいと思えます。

最近、奥様との長距離ドライブが息抜きとおっしゃる神尾課長。まだ踏み入っていないのは、宮崎・大分・熊本・秋田の4県のみ。最近のおみやげは、ご当地キティちゃんストラップだそうです。



#### Libra の運営方針

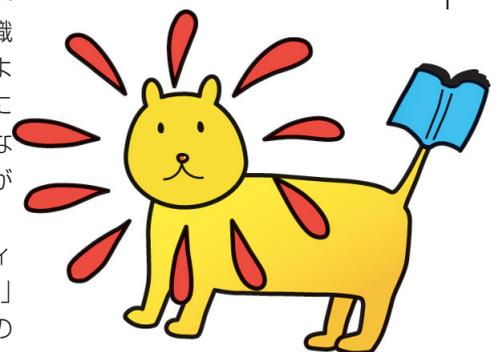
1. 集いの拠点
2. 魅力ある拠点
3. 協働の拠点
4. 情報の拠点
5. 学習の拠点

神尾課長が「初心に戻る」と言われたのが、上記の「Libraの運営方針」です。そして、その核となる図書館を活用させていくために、それぞれに関わる職員が気持ちよく仕事ができるよう、私たちサポーターも、常にコミュニケーションをはかりながら、職員と利用者の橋渡しができたらいいなあと思います。

「経費削減のためにボランティアを必要としているのではない」ということが、お二人に共通の

認識でした。しかし、岡崎市全体が経費の削減を求められています。その上で、気持ちよく働ける職場を作りながら、利用者へのサービスを充実させていく、そのバランスを取るためのボランティアとして、りぶらサポーターが求められているのだと思います。

これが、協働の新しい形としての「岡崎モデル」になることを願います。(T)



りぶらいおん©LSC

# 飛ぶことは生きること！

～岡崎の野鳥とトキと空を飛びたいわたしたちのつながり～

NPO 図書館の学校主催 平成 22 年「第 14 回図書館を使った調べる学習コンクール」優良賞受賞

連尺小学校 5 年生の兵藤梨歩夏（りおな）ちゃん・茉梨夏（まりな）ちゃん姉妹（双子）が、上記のコンクールで受賞されたことを知り、小学校を訪ねました。岡崎市図書館交流プラザ運営協議会委員である鈴木純子校長と、NPO 図書館の学校理事の小川俊彦氏のつながりで、二人の作品がコンクールに応募されたそうです。

インタビューでは、日々の野鳥の観察のこと、実験が大好きなこと、まだまだ調べたいことがたくさんあること、今度はぜひ「文部科学大臣賞を取りたい！」こと、本のページを開くたびに知識が増えていくことなど、イキイキと楽しく語っていただきました。（T）



—— なぜ、「トキ」のことを調べようと思ったの？

学区内に岡崎公園があって、家も菅生川のすぐ近くなんです。朝起きると鳥のさえずりが聞こえて、鳥の観察をしながら毎日登校しています。学校の「岡崎野鳥の会」の方を招いてのウォッチング集会も楽しみにしています。

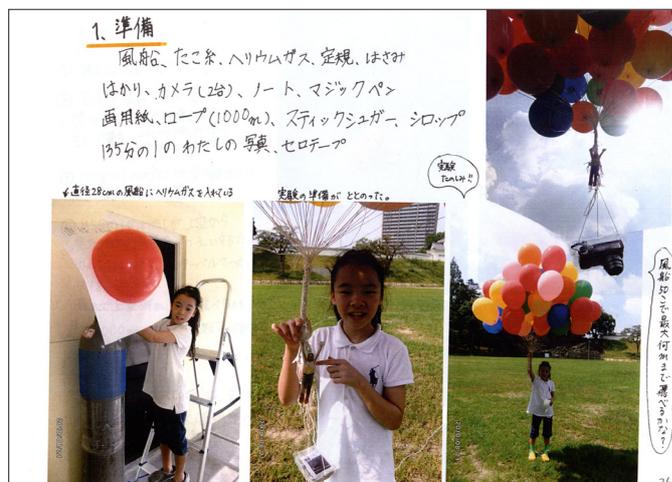
それで、図書館で岡崎の野鳥のことを調べていたら、世界には絶滅のおそれのある動物たちがいることがわかって、日本の「トキ」もその中に含まれていたんです。

—— 「空を飛びたいわたしたち」というのは？

3 年生の時から、「自分で空を飛びたい」と思って、風船で空を飛ばす実験をしていたんです。「空気に重さはあるのか？」の実験をして、空気より軽いヘリウムガスを使って、300 個

の風船で空に浮くことができると予測しました。そのときの結果としては、風船 300 個で持ち上げることができる重さは 600g ということがわかって、私が空に浮かぶには 12,500 個の風船がいることがわかりました。

4 年生になって、同時に「トキ」のことも調べていたので、トキが上空から見た地上の景色がどのように見えるか、という実験をしました。計算をして、50 個の風船にカメラを取りつけ、地上 100 m からの撮影に成功し、カメラと一緒に取り付けた私の写真は、60 分間、空を飛び続けることができました。



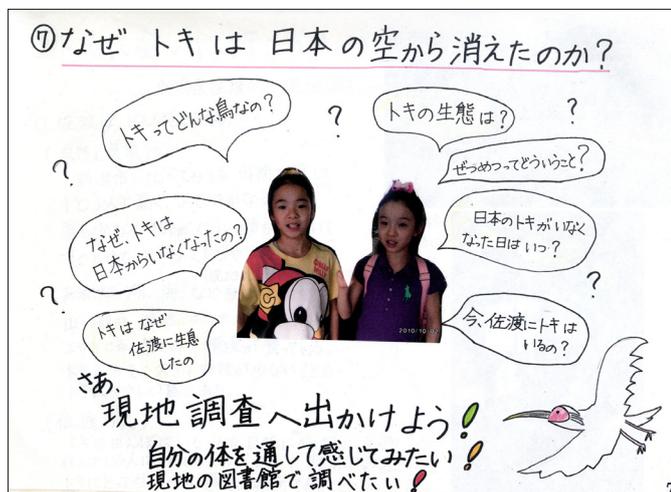
—— その実験で他にもわかったことがあった？

「風を読む力」が必要ということがわかりました。実験の当日、地上にいる私たちはほとんど風を感じなかったんですが、

地上 15m から 100m の範囲ではとても強い風が吹いていたんです。それで、今度は「地球の風の環境のみつ」について調べました。すると、私たちは森や土や水だけでなく、風とともに生きていることがわかって、地球の環境のバランスが動物の絶滅につながっていることを知りました。

—— 佐渡の現地調査はどうでしたか？

佐渡市立両津図書館には、「トキ」に関する本がたくさんありました。中でも、日本最後のトキ「キンちゃん」の記録や本がたくさんあって、まず「キンちゃん」のことを調べてみようと思いました。それから、トキってどんな鳥なのか、ということ調べて、「トキの森公園」と「佐渡トキ保護センター」に行き、実際にトキに会ってきました！ 「トキの森公園」には資料展示館があって、トキについて、とてもくわしく学ぶことができました。また、佐渡の人たちが、トキがくらする田んぼを作ったり、様々な環境作りに取り組んでいることがわかりました。



—— 佐渡で初めて「ビオトープ」という言葉を聞いた？

はい。それで、「ビオトープ」についても調べてみようと思いました。すると、実は私たちの小学校にも、職員室の前に「ビオトープ」があることがわかって、びっくりしました。「ビオトープ」という名前は知らなかったけれど、ここではいろいろな生き物を観察することができて、とても好きな場所だったんです。こんな「ビオトープ」が、日本のいろいろな場所にできれば、たくさんの生き物の生きる場所がふえて、昆虫や野鳥の生態種類もふえると思いました。

それから、トキが減っていった原因の一つである「生物濃縮」について、住みかの里山について、野生動物とペットとの違いについてなど、いろいろ調べました。

—— この学習でうれしかったことは？

佐渡で、飛んでいるトキの姿を見られたことです。タクシーの運転手さんに、「朝の早い時間に、この前の田んぼにトキがやってくるよ」と教えてもらい、朝 5 時から起きて、日の出前から、双眼鏡で宿泊所前の田んぼを見ていました。すると、

ちょうど 6 時頃に山の方から 2 羽のトキが仲よく飛んできて、もう 1 羽も飛んできました。放鳥されたトキが、目の前で、佐渡の空を自由に飛び回る姿に感動しました！

それから、2 年前から取り組んでいる空を飛ぶ実験や、小学校入学時から続けている「野鳥の観察」と、その中で知った日本の空から消えたトキのキンちゃんのことなど、みんな日本の空でつながって、「飛ぶことは生きること」だったことがうれしかった！ もちろん、賞をいただいたこともです！



※岡崎市中央図書館では、毎年同コンクールの入賞作品の展示をしています。

今年は **7 月 2 日 (土) から 22 日 (金) まで**、子ども図書室に展示されます。

### 「NPO 図書館の学校」と 「りぶらサポータークラブ」のかかわり

「りぶらサポータークラブ」設立前に、代表の山田と事務局長の戸松が所属していた「おかしき図書館倶楽部 (旧岡崎図書館を考える会)」で、小川氏やコンクールの審査員である片岡則夫氏の「情報大航海術」の講演会を何度か開催し、その後、図書館で「大人の調べ学習講座」を開催する中から、下記のコンクール入賞作品が生まれています。

第 8 回 優良賞『左利きの研究』：小塚恵理子

第 8 回 優秀賞『実践 情報大航海術』：戸松恵美

第 10 回 佳作『「宗徧まんじゅう」が食べたい!!』  
：太田栄子

第 13 回

奨励賞『岡崎の昔話「お田植え観音」の紙芝居制作と  
三河弁での発表 - 紙芝居が出来上がるまでの  
道のり - 』：柳由美子

佳 作『自転車考 - 素晴らしきかな自転車 - 』：長坂 進

佳 作『たかが映画、されど映画 - 私の映画体験 - 』  
：森崎健二

現在、「大人の調べ学習講座」は休講していますが、いずれ、新たに体制を整え、開講したいと考えています。またこのコンクールには、個人でも自由に応募できます。今年度の「第 15 回 図書館を使った調べる学習コンクール」作品募集については、下記の HP をご参照下さい。  
<http://www.toshokan.or.jp/shirabe-sp/yoko.html>



# 7・8月 りぶらイベントガイド

催しの予定は変更になることがあります。詳細は主催者へお問い合わせください。

日時	イベント名	料金	主催
7月1日(金) 9時～	七夕飾り 城北保育園の子どもたちが飾りや短冊をつけます	—	岡崎市図書館交流プラザ 23-3100
7月1,2,3日(金) 14～16時	Libra TANABATA Jazz Live 1日:川嶋哲郎 & Old Friends 2日:高橋誠 Gypsy Jazz Night 3日:溝口恵美子 & たなかりかジョイントライブ	3days セット券 7,500円	岡崎市図書館交流プラザ 23-3100
7月1,8,15日(金) 14～16時	ことばの教室・中国語 初心者向け(全3回)	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
7月3日(金) 14～16時	ワールドレクチャー「ブルガリア」 諸外国の人・暮らし・文化・歴史を学ぶ パストゥホフ ストラヒル氏	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
7月5日(火) 10～11時30分	寺子屋☆脳きらり 認知症予防の脳トレーニング・回想法・ストレッチ	無料	長寿課 23-6837
7月5日(火) 13時30分～ 7月8日(金) 10時～	あいちお手玉の会 脳を鍛え、みんなでたのしくお手玉を しましょう	無料	あいちお手玉の会 井上 080-3076-1754
7月14日(木) 10時～	男の料理教室 イタリアンに挑戦!たらこスパゲティ他	1,200円	NPO 法人食育推進ネットワーク 岡崎支部 58-8069
7月8日(金) 10時～	地域市民セミナー案内窓口 & ひざ掛けづくり	—	市民のきもち研究会 事務局 森 090-8136-1680
7月14日(木) 14時～	シネマ・ド・りぶら映画上映会 「巴里祭」	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
7月15日(金) 14時～	ボランティア茶話会	—	りぶらサポータークラブ 23-3114
7月16日(土) 13時30分～	第1回りぶらまつり実行委員会	—	りぶらサポータークラブ 23-3114
7月17日(日) 10時～	りぶら いきものみっけ隊	—	りぶらサポータークラブ 23-3114
7月19日(火) 10～11時30分	寺子屋☆脳きらり 認知症予防の歌唱・回想法・ストレッチ	無料	長寿課 23-6837
7月19日(火) 14～16時	生涯学習シンクタンク③	—	りぶらサポータークラブ 23-3114
7月21・28、 8月4日 14～16時	ことばの教室・英語 初心者向け(全3回)	無料	りぶら国際交流センター 23-3148
7月31日(日) 11～13時	親子でニーハオ! 皮から作ろう本格水餃子!	小学生親子 12組 1組500円	りぶら国際交流センター 23-3148
8月4～7日 10時～	Libra 子ども遊びワークショップ 古新聞・廃ダンボール・空き缶などを使ったむかし あそびを体験しよう!	無料	岡崎市図書館交流プラザ 23-3100
8月11日(木) 10時～	男の料理教室 夏バテ防止メニュー ポークソテー他	1,200円	NPO 法人食育推進ネットワーク 岡崎支部 58-8069
8月12日(金) 10時～	地域市民セミナー案内窓口 & ひざ掛けづくり	—	市民のきもち研究会 事務局 森 090-8136-1680

日時	イベント名	料金	主催
8月13日(土) 18時～	天才タップダンサー姉弟 Tap Dance Show	2,500円	♪ Heart&Heart ♪ 32-1373
8月25日(木) 14時～	シネマ・ド・りぶら映画上映会 「キリマンジェロの雪」	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114
8月20日(土) 10時～	りぶら いきものみっけ隊	—	りぶらサポータークラブ 23-3114
8月20日(土) 13時30分～	第2回りぶらまつり実行委員会	—	りぶらサポータークラブ 23-3114
8月23日(火) 14～16時	生涯学習シンクタンク④	—	りぶらサポータークラブ 23-3114
8月27日(土)～ 全6回	親子でトモ学1 「詩と色えんぴつをたのしもう!!」	親子で 500円	りぶらサポータークラブ 23-3114
8月28日(日) 10時～12時	LSCコーディネーター養成講座 第2回 LSCの事業構造～真の顧客と仕入れ先～	無料	りぶらサポータークラブ 23-3114

## 子ども図書室 夏休みのイベント

### 夏休み読書相談 相談日

7月29日(金) 午前10時～正午

7月31日(日) 午前10時～正午

8月5日(金) 午後2時～午後4時

対象：中学3年生までの子どもとその保護者

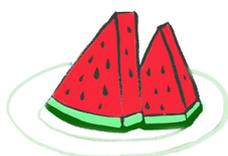
第14回図書館を使った  
調べる学習コンクール入賞作品展  
7月2日(土)～7月22日(金)



### お話の森 ころころくまさん おはなし会&本の紹介

7月24日(日) 午後2時30分～3時10分

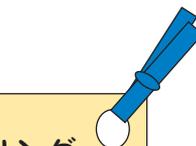
対象：小学校低学年「夏休み 本を楽しもう」



### おはなしの森 まほうの豆 ストーリーテリング

8月27日(土) 午後3時30分～4時

対象：5歳以上(めやす)「夏のおはなし会」





## りぶら中央図書館情報

### 岡崎むかし館 企画展示情報

#### 「暮らしの道具—今と昔 3 —糸を紡ぐ」

9月20日(火)まで開催中

岡崎むかし館ではこの時期、小学生が社会科の授業で習うような、むかしの道具を「衣・食・住」をキーワードに、さまざまな視点から紹介する企画展示を開催しています。

今回のテーマは「紡ぐ」。衣服など織物の原料として、日本では古くから麻と絹が使われてきました。特に絹は、古墳時代にはすでに珍重されていたことが、発掘品からわかっています。

近世以後盛んに生産されるようになった木綿も含め、糸は昭和30年代頃までは、農家にとって米以外の大切な現金収入源でもあり、効率よく生産するために、さまざまな道具が工夫されてきました。そんな道具の一つ「種紙(たねがみ)」紹介します。



養蚕道具の一つで、カイコの蛾に産卵させるための紙です。蚕種製造を生業とする人々が使用します。写真ではかすれて見づらいますが、1から28までの番号枠があります。

この紙の上に「蛾輪(がりん)」と呼ばれる円筒形の枠(28に区切られている)をあて、それぞれの枠に雌雄の蛾を入れて交尾させます。こうして卵のついた種紙を、業者は農家に販売します。

よりよい品質の生糸ができればそれだけ収入も増えるため、優れたカイコが生まれるよう、さまざまな品種改良が行われる大切な紙でもありました。(写真の種紙:岡崎市美術館蔵)

### レファレンス事例集 11

岡崎市内中央図書館でこれまでに受けた資料相談事例を紹介します。

「へえ～、図書館でそんなことがわかるの!」と感動(?)できるネタ満載ですよ。

国立国会図書館レファレンス協同データベース

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/common.Controller> より

質問	岡崎であった過去30年くらいの出来事が載っている本はないか?
回答	岡崎学のコーナーより行政資料を中心に下記参考資料を紹介。1は市域のできごとの概略年表がある。2は詳細な年表の記載があるが、1990年までの内容。3は数字により、様々な状況の移り変わりがわかり参考になる。4は1月1日号(平成6・17年)あるいは1月15日号(平成元・5年)に前年のおもな出来事の特集記事がある。平成18年以降はその特集記事はない。また昭和以前の市政だよりでも特集記事として記述のある年とない年がある。5は行政資料ではないが、2003年までの国内と岡崎地域の出来事に対比した形で詳しく記載されている。
プロセス	岡崎学のコーナーから行政資料、歴史資料等を確認。
参考資料	①『市勢要覧の資料編』岡崎市(AO318/オ) ②『新編岡崎市史20 総集編』岡崎市(AO233/シ) ③『岡崎市統計書』岡崎市(AO353/オ) ④『市政だよりおかざき』岡崎市(AO318/シ) ⑤『激動の90年 日本と岡崎』情報文化社(AO233/ケ)

### りぶら映像アーカイブス

岡崎市内中央図書館2階の視聴覚ブースでは、ビデオやDVDなどの館内資料だけでなく、年代別にアーカイブス化された岡崎に関する貴重なニュース・番組映像を視聴することができます。

懐かしい映像のなかに、ひょっとして、あなたも登場しているかも?!

紹介映像 11

「三河木綿」

NHK ニュース

放送年: 昭和59年(1984年)



綿の日本伝来は、奈良時代に崑崙人(インド人)が幡豆地方に漂着した際、綿の種を持ち込んだことに由来するそうです。

岡崎をはじめとする西三河地域で生産された木綿は「三河木綿」とよばれ、厚地で丈夫な作りが全国的に好まれた時代もありました。しかし、戦後はほとんど生産されなくなってしまいました。

この映像は、そんな三河木綿を再生させようと取り組む、市内の人々の活動を紹介しています。現在では、そのオーガニックで優れた品質が見直され、保存活動も活発になり、地域ブランド化も進みつつあります。



## 岡崎図書館未来企画

### 第2回テーマ展示ブックレビュー開催報告

# 「いのち食卓」

#### 黒柳桂子さんのお話

2007年5月にNPO法人を立ち上げ、自分と同じお母さん世代を対象に、託児付きで「子どもクッキングの指導者養成講座」を開催し、スタッフを集めるところから始めました。現在、約30人の講師スタッフがいて、子どもや男性シニアを対象に料理教室を開催しています。基本的に教えるのは「家庭料理」で、家庭料理を教えるのに、資格はいりません。お母さんというだけで資格はあると思っています。必要なのは、「食いしん坊」であるということですね。

子どもたちも、春菊の天ぷらとか、嫌いな食材も自分で調理すると食べられるんです。汚い物を平気でさわられる2才くらいから、包丁を持たせても大丈夫。自分が食べたいものを自分で調理するというのは、自立の基本です。調理の体験から「いのちをいただく」ということを伝えていきたいと思っています。

#### 参加者が持ち寄った本の紹介

(分類番号のないものは、図書館にはありません)

#### 『バディ たいせつな相棒』

V.M. ジョーンズ PHP 研究所 933  
スポーツ万能、成績優秀なぼくがだれにも秘密にしていたこと……。12歳の少年を主人公に、家族・友情・勇気といった深い問題を軽快に笑いをちりばめながら描いた、せつなくて爽やかな青春物語。義母の料理がキーワードになっている。



#### 『白洲次郎・正子の食卓』

牧山 桂子 新潮社 H 596  
白洲家のテーブルへようこそ。和洋中から韓国料理、エスニック、デザートまで、四季折々のメニューと豪快、絶妙な器づかい……。味にうるさい白洲夫妻が惚れた、愛娘の手料理100品を貴重なエピソードを交えて紹介。



#### 『アーミッシュの食卓』

菅原 千代志 丸善 198.9  
閉鎖的といわれるアーミッシュの人々は、決して頑迷ではなく、非常に合理的な生活を送っている。アーミッシュが大切にしているシンプル・ライフを紹介する。



- ★開催日時 6月14日(火) 19:00～20:45
- ★場 所 グループ室1
- ★ゲ ス ト 黒柳 桂子さん  
(NPO 法人食育推進ネットワーク岡崎支部)

#### 『ミスタードーナツのプレミアム』 ミスタードーナツ (編集)

ミスタードーナツの人気のあるプレミアムを写真で紹介。原田治をはじめ、デザイナーたちのコメントやCM裏話も盛り込みながら、ミスタードーナツ25周年の歴史をまとめる。



#### 『坂本広子の台所育児 一歳から包丁を』 坂本 広子 農山漁村文化協会 379

幼児厨房二入ルのすすめ。熱い・痛い・いい香り…を身体いっぱい感じて、真剣そのもの。生きる力は理屈じゃない。きつとわが子の持つ力にびっくりされる。



#### 『スペンサーの料理』

東 理夫・馬場 啓一 早川書房  
スペンサーはボストンで開業する私立探偵。ロバート・B・パーカー著すハードボイルド小説スペンサーシリーズの主人公である。いま流行のBLTサンドはここから。



#### 『孤独のグルメ【新装版】コミック』

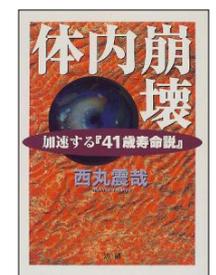
久住 昌之 (著)・谷口 ジロー (作画)  
扶桑社

主人公・井之頭五郎は、食べる。それも、よくある街角の定食屋やラーメン屋で、ひたすら食べる。時間や社会にとらわれず、幸福に空腹を満たすとき、彼はつかの間自分勝手になり、「自由」になる。孤独のグルメ……。それは、誰にも邪魔されず、気を使わずものを食べるという孤高の行為だ。



#### 『体内崩壊 加速する「41歳寿命説」』 西丸 震哉 法研 304

すべての国民が心身のどこかに不調を抱えている現代に、日本人の本当の寿命はどのくらいになっているのか？ 人類の未来はどうなっていくのか？ 超短命化の道を突き進む我々に警告を発する書。



『“弁当の日” がやってきた』

竹下 和男 自然食通信社 374.9

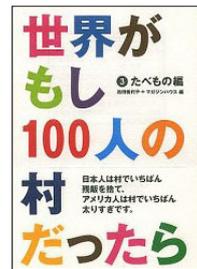
香川県の滝宮小学校で、平成 13 年度から 2 年間実施された「弁当の日」の記録。「親は手伝わないで」をルールに、自分が食べるものを自分の手で作るという体験を通して、成長していく子どもたちの様子を紹介する。



『世界がもし 100 人の村だったら 3 たべもの編』

池田 香代子 マガジンハウ 304

2050 年、人類は 90 億人になります。この村でいちばん残飯を捨てているのは？いちばん太りすぎなのは？わたしたちの「たべもの」の未来は？フォト・ストーリー「少女ランマヤの給食ものがたり」付き。



『コンビニ弁当 16 万キロの旅 一食べものが世界を変えている』

コンビニ弁当探偵団 (著)・千葉 保 (監修)・高橋 由為子 (イラスト) 588

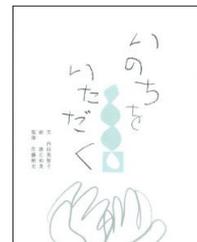
コンビニ弁当にはいろんなヒミツがまっている。店長バーチャル体験、お弁当工場の一日を紹介するほか、食材の輸送距離、コンビニ弁当を食べることで世界中の水をたくさん使うことになるなどの問題点にも迫る。



『いのちをいただく』

内田 美智子 西日本新聞社 648

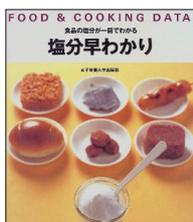
私たちは食べ物を食べて生きている。生きることは食べること。人が生きるということは、命を頂くこと。殺すこと…。食肉加工センターに勤める人の話をもとに、食べ物のありがたみや、感謝して食べることの意味を説く。



『食品の塩分早わかり』

女子栄養大学出版部 498.5

塩分の多い食品は悪い食品!! なんて思うのはやめよう。おいしいものを適度に食べるのが、豊かで健康的な食生活だ。



『きみのからだのきたないもの学』

シルビア・ブランゼイ 講談社 E-3

ウンチやおシッコは本当にきたないの？鼻くそ・ゲップ・オナラから、フケ・かさぶた・汗・くさい足のおいまで、人間のからだから排出されるきたないものにはワケがある。からだど、適切な「清潔さ」について考える本。



私の一冊 vol.11

『雨の日も、晴れ男』



細井陽子 (ほそい ようこ)  
文化活動推進課活動支援班主事  
生涯学習推進・市民活動支援の担当。市民センター・地域交流センターと市民活動センターの管理運営やりぶらサポータークラブの活動支援、市民活動団体の登録・支援、市民講師の登録・紹介や市職員出前講座の受付などの業務を行っています。



水野 敬也：著 文春文庫

幼い二人の神様のいたずらで、たった一日のうちにあらゆる不幸に見舞われるアレックス。しかし、人を楽しませることを決して忘れない彼は、仕事で大失敗しても、円形脱毛症になっても、見知らぬ男に殴られても、その全てを笑いに変えていく。

起こった出来事は、決して変わるわけではない。それでも捉え方を変えるだけで、毎日こんなにも愉快になる。誰かを楽しませ、自分も楽しむこと。ポジティブであること。辛いときにこそ、この精神を忘れたりしない。そんな人間に、私もなりたい。

とりあえず、次回目覚まし時計が止まって寝坊したときは、アレックスにならって、時計くんに挽回の機会を与

えるべく二度寝することにしよう。

『夢をかなえるゾウ』でおなじみの著者によるこの作品は、短いのであっという間に読めてしまうけれど、名言満載、爆笑必至。時々出てくる挿絵もハマりすぎ。Libra や電車内などで読む際には、吹き出さないようご注意ください。



特派員レポート vol.13

シネマサロン・セミナー「『おくりびと』の現場から」【6/16：木】

(株)エンゼルサービス代表・中村典子氏のお話を聞いて

中村典子さんのお話は、映画「おくりびと」の観賞後だけに内容がよく分かり、また具体的に生々しい現場のお話しに引き込まれた。

特に印象に残ったのは、「人は亡くなると『もの』になります」「人は死ぬと体が変わります。最初は筋肉の硬直が20時間ほど続き、その後、軟直状態が60時間ほど、そして死斑が出ます。死後の血流の結果、顔むくれなどが発生するから注意が必要です」「人間は生きものだから死ぬと腐り、内臓からガスが発生し、口や鼻から出てきます。そういう遺体に処置を施し、お化粧によって地蔵顔にし、家族に喜んでもらいます。誇りを持って仕事をしています」など、今まで考えてもみなかった内容の講演であった。

最後に「人の死は、本来命の営みの結果であり、自然に亡くなるのが人間。自然の流れで穏やかな死を迎えたい」「死を迎えるまでにどう生きていこうか、それを考えて明日からの行動に結びつけましょう」との言葉に救われた。

S.N

会計事務所に務めていたとき、ふと目にした求人広告で「納棺師」を知り、「これだ!」と直感したという中村さん。求人先では年齢制限で就職が叶わず、修行の場を求めて週の半分を大阪で過ごすという行動力で、岡崎に唯一の湯棺サービスを行う会社を立ち上げた。

いろいろな現場でのお話を聞いて、「これまで、たくさんのご遺体に接して、つらい現場もあったけれど、これが天



職だと思える」という言葉が心に響きました。死んだ後のことではあるけれど、綺麗にして送って欲しいと、素直に思えました。

私には、映画『おくりびと』で初めて知った「納棺師」という仕事ですが、そういえば父の葬儀の時に、父の思い出にもつながるお話を聞かせていただきました。改めて、父を送ることができたような気がします。 e3

子どもの本専門店「ちいさいおうち」

岡崎市材木町 3-2 AM10:00 ~ PM6:00 休:水曜日  
0564-26-3083 <http://homepage1.nifty.com/livre>

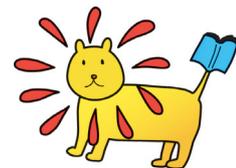
1995年に、子どもの本専門店として連尺通に開店した「ちいさいおうち」は、子どもや絵本の好きな大人の憩いの場です。2005年に現在の材木町に移転して、今年の9月には、6年目を迎えます。

ガラスから見える絵本に魅かれて戸を開けると、色とりどりの絵本が迎えてくれます。靴を脱いであがるので、一つ一つの本を手に取り、ゆっくり眺めることができる空間です。

ちょっと見るだけのつもりが、手放せなくなって買ってしまいます。開店時間は10時~18時 水曜日休みです。また、毎週月曜日午後4時から45分間の読み聞かせには、かわいい子どもたちやお母さんがやってきます。読み手もお客さんも和やかな楽しい時間を過ごします。(美代子記)



りぶら周辺のお店を紹介します。



★お詫びと訂正★

「Libra I on vol.15」において、下記の間違がありましたので、お詫びの上訂正いたします。  
訂正箇所：p3 (赤字を→に訂正)

「りぶら」とは

市民の自発的な学びの環境は、**図書館法** (→社会教育法) が昭和24年に、**社会教育法** (→図書館法) が昭和25年、**博物館法** が26年にできて、複合的に発想してつくられてきました。

ふみだそう！  
りぶらから、はじめの一步



りぶらサポータークラブは、  
年間のテーマを決めて活動しています。  
昨年は「Libra I on Stage」ということで、  
「りぶら」というステージに立って活動しよう、  
と呼び掛けてきました。そして今年は、  
「ふみだそう！ りぶらから、はじめの一步」。  
それぞれの活動や学びのステージから、  
一歩踏み出せるようなサポートと、  
事業の実施を目指します。

りぶらサポータークラブ  
2011

りぶらで活動する市民活動団体の紹介コーナーを設けます。活動の写真2～3枚と、800字前後の原稿を送って下さい！

りぶら周辺のお店情報を募集しています。写真2～3枚と、800字前後の原稿を送って下さい！

りぶらに関するコラムや利用者の投稿を募集しています。400字前後の原稿を送って下さい！

「Libra I on」を活用しよう！  
原稿を募集しています！  
原稿は [info@libra-sc.jp](mailto:info@libra-sc.jp) へ。  
随時受け付けています。

